

事務事業評価シート(事後評価)

|                |                   |                         |
|----------------|-------------------|-------------------------|
| 事業コード<br>8-2-1 | 事務事業名<br>環境学習推進事業 | 所管部課<br>みどり環境部<br>環境保全課 |
|----------------|-------------------|-------------------------|

|               |                |   |
|---------------|----------------|---|
| 施策コード<br>環2-1 | 施策名<br>環境意識の高揚 | 施策目標<br>環境を大切にすしくみづくりや環境学習の推進を通して、市民・事業者及び行政の環境意識の高揚をめざします。 |
|---------------|----------------|---|

|         |  |      |  |
|---------|--|------|--|
| 事務事業の概要 | 事務事業の目的  |      | 根拠法令等  |
|         | 環境の保全と循環型社会の形成につながる活動を普及させるとともに、これらの活動を支援し、環境学習の場を提供することなどにより、市民の環境意識の向上と連携づくりを図ることを目的とする。   |      | <input checked="" type="checkbox"/> 法律<br><input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則<br><input type="checkbox"/> 政令・省令<br><input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領 |
|         | 事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する  |      |  |
|         | エコプラザ西東京を環境学習の拠点として位置づけ、環境学習に関する様々な情報を受発信するとともに、環境活動を推進する環境団体等を支援する。<br>環境フェスティバル等環境啓発活動や各種環境講座を開催する。(環境フェスティバル等運営支援委託料、環境学習事業等講師謝金)<br>環境講座等で講師となる人材の育成とその活動の場の拡充を行う。(環境講座等講師養成講座受講助成金：市単独補助) |      |  |
| 事業開始時期  | 平成20年度   | 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )                                    |

| 項目                        | 単位 | 22年度   | 23年度   | 24年度   | 25年度   |
|---------------------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 事業費(A)                    |    | 7,751  | 4,662  | 4,398  | 5,883  |
| 財源内訳                      |    |        |        |        |        |
| 国庫支出金・都支出金                |    | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 地方債                       | 千円 | 0      | 0      | 0      | 0      |
| その他(みどり東京助成金等)            |    | 2,692  | 1,664  | 1,666  | 1,712  |
| 一般財源                      |    | 5,059  | 2,998  | 2,732  | 4,171  |
| 所要人員(B)                   | 人  | 1      | 1      | 1      | 1      |
| 人件費(C)=平均給与×(B)           | 千円 | 8,080  | 8,165  | 7,698  | 8,234  |
| 臨時職員賃金等(C')               | 千円 | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 総コスト(D)=(A)+(C)+(C')      | 千円 | 15,831 | 12,827 | 12,096 | 14,117 |
| 単位当たりコスト(E)=(D)/(年間講座開催数) | 千円 | 217    | 109    | 209    | 0      |

| 活動等指標   | 単位    | 22年度  | 23年度  | 24年度  | 25年度  |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| ①年間講座開催数  | 実績値 回 | 73    | 118   | 58    |       |
| ②   | 実績値   |       |       |       |       |
| 《指標の説明・数値変化の理由 など》<br>年間講座開催数において平成24年度数値が前年度から大きく減少しているのは、主催事業として開催していた講座を登録団体主催に切り替えたものがあることによる。    |       |       |       |       |       |
| 成果指標  | 単位    | 22年度  | 23年度  | 24年度  | 25年度  |
| 一 環境学習講座参加者数  | 目標値 人 | 2,500 | 4,000 | 2,500 | 4,000 |
|   | 実績値 人 | 2,258 | 3,926 | 2,422 |       |
| 二 環境学習講座参加者満足度  | 目標値 % |       |       | 90    | 93    |
|   | 実績値 % |       |       | 92    |       |
| 《指標の説明・数値変化の理由 など》<br>環境学習講座参加者数において平成24年度数値が前年度から大きく減少しているのは、主催事業として開催していた講座を登録団体主催に切り替えたものがあることによる。 |       |       |       |       |       |

|       |                               |  |
|-------|-------------------------------|--|
| 事業環境等 | 市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)        | 環境講座実施後のアンケートでの講座参加者の満足度は90%以上と高い。新規講座の開催要望や開催回数増などの要望もみられる。   |
|       | 都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など) | <input checked="" type="checkbox"/> 上<br><input type="checkbox"/> 中<br><input type="checkbox"/> 下<br>環境に特化した施設を運用している自治体は少なく、環境学習講座開催数も月平均5回程度と多い。 |
|       | 代替・類似サービスの有無                  | <input checked="" type="checkbox"/> 有<br><input type="checkbox"/> 無<br>公民館での環境講座(市民主催講座)   |

|                |                |                         |
|----------------|----------------|-------------------------|
| 事業コード<br>8-2-1 | 事務事業名 環境学習推進事業 | 所管部課<br>みどり環境部<br>環境保全課 |
|----------------|----------------|-------------------------|

|               |                |   |
|---------------|----------------|---|
| 施策コード<br>環2-1 | 施策名<br>環境意識の高揚 | 施策目標<br>環境を大切にすしくみづくりや環境学習の推進を通して、市民・事業者及び行政の環境意識の高揚をめざします。 |
|---------------|----------------|---|

【一次評価】

| 検証項目 | ランク             | 一次評価 | ○検証項目、評価の判断理由<br>○事業実施上の課題や今後改善すべき点等   |
|------|-----------------|------|--|
| A    | 事業の優先度<br>(緊急性) | 2    | <p>環境問題は、市民や事業者がその役割と責任を理解し、環境保全活動に参加する姿勢やそのための能力を備え、地道で息の長い取組みを継続していく必要があるものである。一方で、深刻化が懸念される地球温暖化などへの対応は、今や待ったなしの状態であるといえる。そうした意味で、本事業は緊急性も高く、また、必要性も高いものである。</p> <p>平成24年秋に実施した環境に関する市民意識調査の結果では、前回調査（平成20年実施）との比較で、環境保全活動への参加意向が19.2%から25.1%に伸びたのに対し、実際に参加したことがあるのは5.9%が6.1%とほぼ横ばいとなっている。また、環境保全活動に参加予定はないと回答した人の2割以上がその理由に「どのような活動が行われているかわからない」としている。こうした人々に対して、具体的な取組みやその視点を示し、その意識の啓発を図ることは非常に重要であり、本事業はより幅広い層に訴えかけられるようにその内容等の見直しを図りつつ、継続実施していく必要がある。</p> <p>課題としては、エコプラザ協力員や環境団体、事業者等との連携を図りながら、環境学習事業のメニューの充実を図るほか、環境に関する拠点施設であるエコプラザ西東京の施設としての魅力を強化し、日常的な環境学習の場として定着させていくことなどが挙げられる。</p> |
|      | 事業の必要性          | 2    |  |
|      | 事業主体の妥当性        | 2    |  |
| B    | 直接のサービスの相手方の相手方 | 3    |  |
|      | 事業内容等の適切さ       | 2    |  |
|      | 受益者負担の適切さ       | 2    |  |
| C    | 市民ニーズの把握        | 2    |  |

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

| 検証項目 | ランク             | 二次評価 | ○検証項目、評価の判断理由<br>○事業実施上の課題や今後改善すべき点等  |
|------|-----------------|------|---|
| A    | 事業の優先度<br>(緊急性) | 2    | <p>市民意識調査では環境活動への参加意向が増加しているにもかかわらず、実際の参加は伸び悩んでおり、また、各事業の認知度が低いなど、さらなる対策を図りたい。</p> <p>また、エコプラザ協力員の固定化も問題である。</p> <p>さらに、エコッキング事業については、ナビゲーターの定着率に課題があるなど、費用対効果面でも十分に活用できていないなど課題も多く、改善へ向けた検討が必要である。</p> |
|      | 事業の必要性          | 2    |   |
|      | 事業主体の妥当性        | 2    |   |
| B    | 直接のサービスの相手方の相手方 | 3    |   |
|      | 事業内容等の適切さ       | 1    |   |
|      | 受益者負担の適切さ       | 2    |   |
| C    | 市民ニーズの把握        | 2    |   |

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

| 行革本部評価  | 評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 拡充<br><input type="checkbox"/> 継続実施<br><input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し<br><input type="checkbox"/> 抜本的見直し<br><input type="checkbox"/> 休止<br><input type="checkbox"/> 廃止 | <p>本事業は、エコプラザ西東京を環境学習の拠点として、市民の環境問題に対する意識啓発を図ることを目指すものであるが、環境保全活動に対する市民意識が高まっている一方、その関心が具体的な行動に結び付くまでに至らない層が一定数存在することが確認され、こうした点においてエコプラザ西東京の機能強化が求められる。このため、事業内容については、厳しく精査し、幅広い層に活動への参加を促す取組の検討を行われたい。</p> <p>また、二次評価において指摘のとおり、エコプラザ協力員については固定化の課題への対処を、環境講座等を行う講師を養成するための講座を受講する費用を助成している、エコッキング事業については、養成されたエコッキングナビゲーターの活動状況を踏まえ、今後目指すべき到達点や助成水準といった点について、見直しを図られたい。</p> |